

製品名: WWOX ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19940**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	47kDa

抗原情報

遺伝子名	WWOX
別名	WWOX; FOR; WOX1; WW domain-containing oxidoreductase; Fragile site FRA16D oxidoreductase
遺伝子 ID	51741.0
SwissProt ID	Q9NZC7
免疫原	抗血清はヒト WWOX 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 1-50

背景

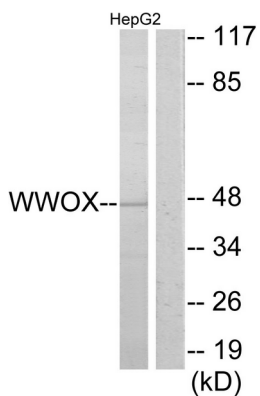
WWOX (WW ドメイン含有酸化還元酵素) は、短鎖脱水素酵素 / 還元酵素 (SDR) タンパク質ファミリーのメンバーをコードしてい

ます。WWOXはFRA16D共通染色体脆弱部位に存在し、腫瘍抑制遺伝子として機能すると考えられています。コードされているタンパク質の発現はアポトーシスを誘導することができ、この遺伝子の欠損は複数の種類の癌と関連しています。WWOXの破壊は、常染色体劣性脊髄小脳失調症12とも関連しています。マウスにおける同様の遺伝子の破壊はステロイド生成の障害を引き起こし、このタンパク質の代謝機能も示唆しています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。骨格系の発達、骨化、骨芽細胞の分化、アポトーシスの誘導、ステロイド代謝過程、シグナル伝達の負の調節、細胞コミュニケーションの負の調節、細胞死の調節、細胞死の正の調節、プログラム細胞死の誘導、Wnt受容体シグナル伝達経路の調節、Wnt受容体シグナル伝達経路の負の調節、アポトーシスの調節、アポトーシスの正の調節、プログラム細胞死の調節、プログラム細胞死の正の調節、骨格系の形態形成、酸化還元、骨の発達、

研究分野

細胞生物学

画像データ



WWOX抗体を用いたHepG2細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。